

2018年5月11日

各 位

会 社 名 日本板硝子株式会社
 コード番号 5202
 本社所在地 東京都港区三田三丁目5番27号
 代 表 者 森 重樹
 問 合 せ 先 IR 部長 西江 佐千由
 電 話 03-5443-0100

通期業績予想と実績値との差異及び個別開示項目（収益）の計上に関するお知らせ

当社は、2017年12月27日に公表した2018年3月期（2017年4月1日～2018年3月31日）の連結業績予想（通期）と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、2018年3月期第4四半期において個別開示項目（収益）の計上を行いましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

I. 2018年3月期の連結業績予想数値と実績値との差異（2017年4月1日～2018年3月31日）

1. 差異の内容

(百万円)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益(注)
前回発表予想(A)	600,000	36,000	20,000	3,000	1,000	△8円85銭
実績値(B)	603,852	35,663	22,177	7,873	6,130	47円90銭
増減額(B-A)	3,852	△337	2,177	4,873	5,130	56円75銭
増減率(%)	0.6%	△0.9%	10.9%	162.4%	513.0%	--
参考：前期実績	580,795	29,862	14,751	7,292	5,605	62円04銭

(注) 基本的1株当たり当期利益は、A種種類株式にかかる配当金の影響を考慮した数値を記載しております。

2. 差異の理由

2017年12月27日に公表した業績予想に対して、主として下記Ⅱに記載した理由により税引前利益が増加しました。一方、一部地域において繰延税金資産を計上したため、当期利益及び親会社所有者に帰属する当期利益がそれぞれ増加しました。これらの結果、上記の通り業績予想と実績値との間に差異が生じました。

II. 個別開示項目（収益）の計上について

当社ジョイント・ベンチャーであり、ロシアにガラスの製造拠点を有する SP Glass Holdings BV 社に対する当社持分の評価損失額の戻れを行ったことにより、2018 年 3 月期第 4 四半期において約 41 億円を個別開示項目（収益）として計上いたしました。同社は業績が着実に回復しつつあることから、将来の見通しを再評価した結果、評価損の戻れ益を認識したものです。

(注) 上述の業績予想等は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいておりますが、実際の業績等は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上